

第53期

中間グループ報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

決算のポイント

- ・売上高は、テレワーク拡大でPC販売が伸びるも、大口取引先との商権・商流の変更による影響を大きく受け減収
- ・減収にともない販管費縮減に努めるも、営業利益・経常利益ともに減益
- ・四半期純利益は、企業買収にともなう「負ののれん益」計上により増益

決算ハイライト

売上高

1,888億59百万円
(前年同四半期比 18.1%減 ▼)

営業利益

44億34百万円
(前年同四半期比 15.4%減 ▼)

経常利益

43億38百万円
(前年同四半期比 21.8%減 ▼)

親会社株主に帰属する四半期純利益

107億72百万円
(前年同四半期比 207.5%増 ▲)

セグメント別の業績

電子部品事業

売上高 **1,568億87**百万円
(前年同四半期比 21.5%減) 構成比83.0%

部品販売ビジネスは、本年4月よりエクセルを当社のグループ会社としたことによる増収効果がありましたが、昨年10月に富士通エレクトロニクス社の大口取引先であった米国Cypress社から販売代理店契約を解消されたことで売上を大きく落としました。EMSビジネスは医療向けが堅調に推移したものの、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう各国のロックダウンなどにより当社および顧客の海外生産拠点において一部操業休止や生産調整の影響を強く受け、主として車載向けや空調向けが低調に推移しました。

情報機器事業

売上高 **231億92**百万円
(前年同四半期比 16.1%増) 構成比12.3%

住宅向け家電販売ビジネスは、販売先の納期調整の影響などにより低調となりましたが、コロナ禍の中でリモートワークやオンライン授業が増加したことによりパソコンおよびPC周辺機器の販売が好調に推移しました。

ソフトウェア事業

売上高 **12億74**百万円
(前年同四半期比 4.3%減) 構成比0.7%

CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などにおいて、いわゆる「巣ごもり需要」の拡大にともなう受注案件の増加や顧客からの前倒し発注などにより堅調に推移しました。

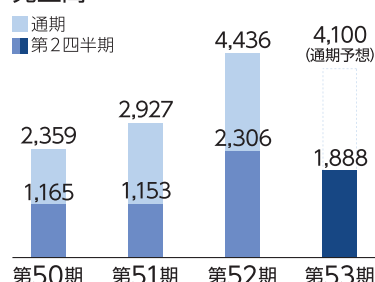
その他事業

売上高 **75億5**百万円
(前年同四半期比 21.1%減) 構成比4.0%

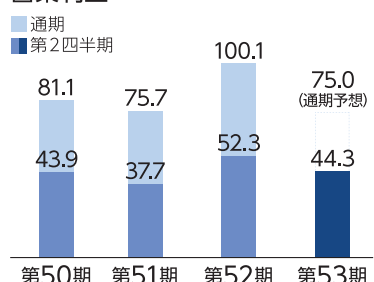
パソコンおよびPC周辺機器のリサイクルビジネスは堅調に推移しましたが、アミューズメント業界向けゲーム機器やゴルフ用品販売は行政からの自粛要請にともない長期間にわたった店舗休業の影響を受け、低調に推移しました。

業績の推移

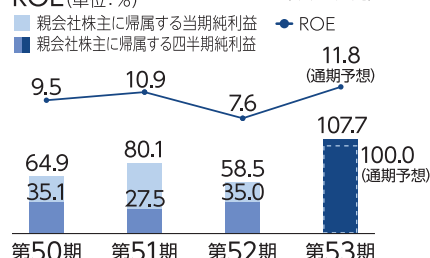
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/ROE(単位：%)



より詳細な財務情報は弊社HPをご覧ください



“我が国業界No.1企業”、“グローバル競争に勝ち残る企業”の実現に向けて、グループをあげて取り組む



代表取締役会長 塚本 勲

代表取締役社長 門 良一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第53期中間期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）における当社グループの業績につきましてご報告申し上げます。

■ 中間期の業績・配当について

当社グループを取り巻く内外の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大にともなう各国でのロックダウンなどにより、製造業では一部工場が稼働停止を余儀なくされるなど企業活動の停滞による影響がありました。一方、当社グループ内においては、情報機器事業はコロナ禍を機会としてリモートワーク向けなどにPC需要が大きく伸びました。また、電子部品事業では、2020年4月より株式会社エクセルを新たにグループ会社に加えましたが、富士通エレクトロニクス株式会社の大口取引先との販売代理店契約解消によって売上は大きく減少しました。

これらの結果、当中間期における売上高は1,888億59百万円となりました。利益面では、売上高の減少にともなう売上総利益の減少を補うべく、リモートワークやオンライン会議の積極活用などによる業務効率化を推進し、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は44億34百万円、経常

利益は43億38百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益はエクセル買収にともなう「負ののれん発生益（79億63百万円）」を計上したことなどにより、前年同四半期を大きく上回る107億72百万円となりました。

これにより当中間配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、安定的な利益還元観点から、期初計画通りの1株当たり30円とさせていただきます。

■ 新型コロナウイルスへの対策について

前事業年度末より拡大が続く新型コロナウイルスへの対応としましては、国内営業拠点では、テレワークを基本（出社率は約50%）とした勤務体制を継続しております。海外拠点につきましては、各国行政によるロックダウンなどの影響で一時操業を休止した生産拠点もありましたが、現在は安全対策を実施しながら生産活動を継続してお

り、国内外の生産拠点、営業拠点ともに支障なく動いています。今後も、お客様、お取引先様、および全従業員とその家族の健康と安全確保を最優先に、引き続き、感染拡大抑止に努めてまいります。

■ 今後の見通しについて

期初時点では新型コロナウイルスの影響が見通せず、「未定」としておりました2021年3月期業績予想につきましては、本年8月の第1四半期決算発表時に一定のリスクを織り込んだ上、公表いたしました。

その後、不透明な先行きについては変わらないものの、社内計画に対して

上振れて進捗した当中間期業績を踏まえ、今般の第2四半期決算発表時に売上高、営業利益、ならびに経常利益を上方修正いたしました。また、当期純利益は先行きを慎重にみて、前回予想を据え置きました。

2019年4月に始動した「中期経営計画 2021」は、当期が中間年度にあたります。コロナ収束は長期化するものと腹を据えて、当計画が目指す“我が国業界No.1企業”、“グローバル競争に勝ち残る企業”の実現に向けて、当社グループをあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

	前期実績 (参考)	前回予想 2020年8月6日公表	今回予想 2020年11月5日公表
売上高	4,436億15百万円	4,000億円 (前期比 9.8%減)	4,100億円 (前期比 7.6%減)
営業利益	100億14百万円	50億円 (前期比 50.1%減)	75億円 (前期比 25.1%減)
経常利益	101億37百万円	45億円 (前期比 55.6%減)	75億円 (前期比 26.0%減)
親会社株主に帰属する 当期純利益	58億52百万円	100億円 (前期比 70.9%増)	100億円 (前期比 70.9%増)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
▶資産の部		
流動資産	172,376	174,331
固定資産	37,532	33,306
有形固定資産	18,915	17,974
無形固定資産	2,660	2,256
投資その他の資産	15,957	13,075
資産合計	209,908	207,638
▶負債の部		
流動負債	85,631	93,655
固定負債	28,114	27,732
負債合計	113,745	121,388
▶純資産の部		
株主資本	88,770	79,097
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,878	13,878
利益剰余金	64,764	55,091
自己株式	△2,006	△2,005
その他の包括利益累計額	△498	△812
非支配株主持分	7,891	7,965
純資産合計	96,163	86,250
負債純資産合計	209,908	207,638

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	前第2四半期(累計) (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	188,859	230,630
売上原価	167,218	206,859
売上総利益	21,641	23,771
販売費及び一般管理費	17,206	18,531
営業利益	4,434	5,239
営業外収益	634	740
営業外費用	730	434
経常利益	4,338	5,546
特別利益	8,023	559
特別損失	235	803
税金等調整前四半期純利益	12,126	5,302
法人税、住民税及び事業税	1,107	1,135
法人税等調整額	317	317
法人税等合計	1,424	1,453
四半期純利益	10,701	3,848
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,772	3,502
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△70	346

(注)記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

加賀電子グループ、ヘルスケア・医療分野へ本格展開

当社グループは、各種環境製品ベンチャー企業のカルテック株式会社と光触媒除菌脱臭機「TURNED K(ターンド・ケイ)」の販売および部品調達において協業することに基本合意しました。「ターンド・ケイ」は、同社独自開発の光触媒フィルタを用いて浮遊ウイルスや悪臭成分を除去する世界トップクラスの除菌・脱臭性能を有しています。今般、理化学研究所、日本大学医学部と共同で、その機能性を評価したところ、新型コロナウイルスを99.9%分解することが実証されました。

また、医療機器ベンチャー企業の株式会社ニューロシューティカルズへ資本参加しました。同社は、独自のネットワークでより効率的に診断や治療を行える機器を探索し、製品リリースを行っています。当社グループでは、同社から女性向け検診機器である乳がんCTスキャナーや移動式CTスキャナー等の販売権を取得し、医療機関へ向けて販売準備を開始しました。



▶ 株式インフォメーション

(2020年9月30日現在)

会社概要

設 立	1968年9月12日
資 本 金	121億3,354万円
従 業 員 数	567名(単体:男384名・女183名)
平 均 年 齢	42.0歳(男44.2歳・女37.5歳)
事 業 の 内 容	当社は、電子機器用エレクトロニクス部品の企画、開発、製造、仕入販売、コンピュータおよび周辺機器・関連部品・付属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならびに輸出入を主な業務とし、これに付帯する業務も営んでおります。

役員

代表取締役会長	塚 本 勲	
代表取締役社長	門 良 一	
専 務 取 締 役	高 橋 信 佐	
専 務 取 締 役	筧 新 太 郎	
常 務 取 締 役	川 村 英 治	管理本部長
取 締 役	俊 成 伴 伯	EMS事業部長
取 締 役	野 原 充 弘	電子事業部長
社 外 取 締 役	三 吉 暹	
社 外 取 締 役	田 村 彰	
社 外 取 締 役	橋 本 法 知	
常 勤 監 査 役	亀 田 和 典	
常 勤 監 査 役	石 井 隆 弘	
社 外 監 査 役	橘 内 進	
社 外 監 査 役	佐 藤 陽 一	

株式の状況

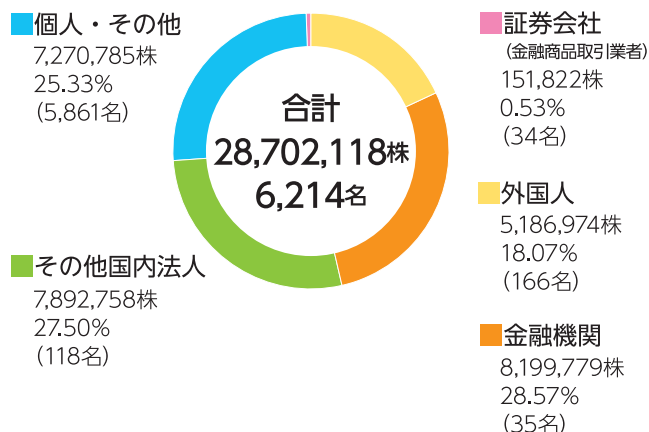
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	28,702,118株
単元株式数	100株
株主数	6,214名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1.株式会社三共	3,824	13.93
2.株式会社OKOZE	1,840	6.70
3.株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,448	5.27
4.日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,365	4.97
5.株式会社三菱UFJ銀行	1,212	4.42
6.加賀電子従業員持株会	1,203	4.38
7.株式会社みずほ銀行	950	3.46
8.塚本 勲	733	2.67
9.三菱電機株式会社	500	1.82
10.THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	472	1.72

(注) 1. 持株数は千株未満を切捨てて記載しております。
 2. 上記のほか、自己株式が1,241千株あります。
 3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 4. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)および日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、信託業務によるものであります。
 5. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日付の合併にともない、商号を株式会社日本カストディ銀行に変更しております。

所有者別株式分布状況



「統合レポート2020」を発行

統合レポートを改訂し2020年版を発行いたしました。統合レポートには決算情報や事業内容に加え、CEO・COO・CFOメッセージ、当社の強みや成長戦略、社会貢献活動・ガバナンス体制などが記載されております。当社HPにも掲載されておりますので、ぜひご一読ください。

冊子をご希望の方はIR・広報室までご連絡ください。

詳しくは弊社HPをご覧ください



IRメール配信サービス

最新の適時開示等、当社IRに関する情報について、ご登録のメールアドレスにお知らせいたします。ぜひ、ご登録ください。



<https://www.taxan.co.jp/jp/ir/irmail/index.html>



〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地
 TEL 03-5657-0111 (代) FAX 03-3254-7131
<https://www.taxan.co.jp/> 東証一部：証券コード 8154
 (お問い合わせ先) IR・広報室 TEL 03-5657-0106



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。

